

# 婦人と子ども

第十三卷 第十號

## 保 姆 論 (二)

### △保姆の素養

保姆の第一資格に就ては前に述べた通り（本誌第十三卷第五號）であると思ふ。しかしながら、此の本質的資格を具へて居る人が、すべて良保母として幼児教育の實績を擧げ得るといふ譯にはゆかない。人が其のハタラキを完ふするには、道具がなくては出来ない。保姆の道具は何が。即ち幼稚園教育者として必要な知識の素養である。吾人は、教育上に人格の力を尊重すること恐らく何人にも譲らないものである。殊に教育の程度（知識的に）低ければ低き程、教師の人格に最も

多く信頼しなければならぬことを主張するものである。即ち此の意味に於て、保母ほど人格的要素に富める教育をするものはないと言つてもよい位である。しかしながら、これを以て、保母の學問的素養不必用論にかこつけて仕舞ふことは出来ない。人格は力である。そのハタラキは知識によつて道をたてられなければならないのである。

教育學の發達せる當代に於て、最も奇妙なることは、幼稚園の保母位、何人にでもすぐ出来るといふ思想である。素より更めて斯ういふ露骨な言をなす人は多くあるまいと思ふのであるが、斯ういふ心持は案外多くの人が有して居る。心持とし

て有するばかりでなく、随分實際の上に無遠慮に實行されて居る。而して、此の心持を解剖分析して見るならば、幼稚園教育に特殊要素の必要なることを認めて居ないことになる。すべてのものが専門的になり、學理的秩序的準備を必要として居る今日に於て、餘りといへば舊式な思想といはざるを得ない。乃至、幼稚園教育を侮辱することの甚しいものと憤慨もして見度くなるのである。勿論保姆は知識を教ゆる教育者ではない。理科の教師に理科の素養がおり、語學の教師に外國語の素養がおりといふ意味に於て、保姆に専門の學問が必要な譯ではない。それは言ふまでもないことである。しかし幼稚園といふ特別の教育を行ふに、その特別の準備知識が無くてよいといふ理が何處に立ち得るであらうか。之れは一層いふまでもないことである。

### △幼稚園教育の準備知識

此の言ふまでもないことが能く徹底しないのは詰り、幼稚園教育に如何なる準備の知識が必要であるかといふことが分つて居ないからである。次にその主なるものを列擧して見度い。

一、兒童發達概論。教育があつて兒童があるのではない。兒童があつて教育があるのである。何故に幼稚園教育が行はれなければならぬかといふことを最正しく循環的に理解せしむるものは、兒童研究である。但しこの場合、學齡期や、青年期の心理生理に就てくはしく知る必要はないのであるから、兒童發達の一般概論に於て、幼兒期の人生に於ける意義、價值、等を明かにすることが必要である。

二、幼稚園教育の目的。教育の目的が定まるのは兒童期の意義ばかりからではなく、種々の他の條件も與つて來るものである。今日の此の時代と社會とに於ける幼稚園教育の要求せらるゝ目的如何といふことは、可なり廣汎なる多方面の考究を

俟つて初めて根本的に闡明せらるゝものである。

幼稚園教育の歴史の如きも、此の中に含まるゝ問題の一つになる。また幼稚園の種類に關する研究も此の中で明かにせらるべきである。

三、幼稚園期兒童の心理。これは兒童發達概論とは別の目的に於て研究せらるゝものである。即ち幼稚園教育の方法を研究するために、先づ其の教育の客體を明かにするのである。即ち幼稚園方論の科學的根據を與ふるものであるから、充分精密に確實に討究せられなければならない。

四、幼稚園教育法の原理。幼兒の心理に基いて幼稚園教育法の質的、量的兩面の原理を明かにするのである。即ち質的方面に於ては、普通教育學に所謂、教科の排列、教材の撰擇といふ類の問題を研究し、假令ば幼稚園教育に於て何故にお嘶が用ゐらるべきか、また如何なるお嘶を用ふべきかといふ類の原理を明かにする。また量的方面に於ては、其の教育の時間、程度等の方面の問題を正

しく解決すべき原則を明かにする。而して之れが一般論と各論とに分たれることは必然であつて、各論に於ては、原理ではあるが餘程具體的に實際的な論述に入るべきものと思ふ。つまり普通教育學の方法論にあたる處であつて、從つて教授的、訓育的兩面に涉らなければならない。但し、その關係が普通教育學と大に趣を異にする處あるべきは論を俟たない。

五、美學に關する一般知識。之れ亦幼稚園教育者に限つたものではないが、亦缺くべからざるものである。而して此の中には所謂美育に關する一般原理と、美術の各問題中、假令ば色彩とか形態とか音樂とかに就ての各論的簡單なる原則とが含まれる。つまり幼稚園の教育手段として用ゐらるゝ、いろゝの教科に關する知識を與ふるものである。

六、自然物に關する知識。幼稚園教育中最も直接に必要な生ずる知識は自然物に關する知識であ

る。勿論純粹の科學としての組織的知識を要する程のこともないが、幼兒の周圍にある動植物等について、一般的——併し確實なる知識は有して居なければならぬ。之れは特別に幼稚園教育者にのみ限つた知識といふのではないけれども、必ず缺くべからざる準備知識の一つとして、必要なるものである。

七、幼稚園管理法。之れは一人々々の保姆として直に必要なことではないかも知れないが、幼稚園の設計、設備、乃至計理事務等に關し、たとへば園長としての事務を行ふ場合の爲めに、一通りは通じて置く必要のあるものである。

八、尙ほ以上の他に、幼兒衛生の知識及び種々の技術上の熟練を要することはいふまでもない。

## 英文學にあらはれたる子供 (十)

東京女子高等師範學校教授 岡田みつ

### 『デミ』と『デージー』

(米國の女作家オルコット(Alicott)女史の著 Little Women 中の一節)

デミとデージーは双生兒ふたごで、デミは男の兒、デージーは女の兒です。二人とも四歲位になつて居ますが、飛んだ吾儘者になりさうな位に持て囃され切つて居ます。此子達は、生後八月で歩き初め満一年ですら、物言へて、二歳の時には、チ

ヤンと食卓に着いて、人が賞めそやす程に行儀が宜いとして、親の目からは、素より、世にも珍らしい子なのです。

デージーは、三歳の時に針をすゐと強請で、四針しか縫目のない袋を拵へた事もありますし、小さな